



広 報

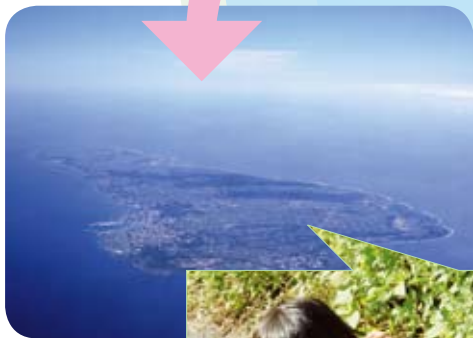
きかい

No. 498

12

平成20年
(2008)

ちっちゃな羽に
夢とロマンをのせて・・・



再捕獲した上地美緑さん
うえちみのり



再捕獲されたアサギマダラ
「さと」の名前が見える



捕獲・放蝶した石浜智さん
(写真左、長野県日和田高原にて)

特集
第43回島内一周駅伝大会
喜界高校創立記念講演会
米舞さん全国でも躍進
シマの話
その1(ウヤンコー ほか)
その2(奄美空手選手権大会 ほか)
連載 シマの入り江と潮たまり(前金久編)
喜界歌壇・戸籍の窓・今月のわんこ・編集後記
島に咲く花

表紙説明

長野県大鹿村で放たれたアサギマダラが、1,000kmも離れた喜界島で再捕獲された。放したのは石浜智さん(小2)で、それを再捕獲したのは、上地美緑さん(小1)。接点のない遠く離れた2人の「女の子」を、1頭の小さなアサギマダラがつないでくれた。自然の神秘とロマンを感じずにはられない。(本誌6ページ参照)

上嘉鉄A 堂々の大会3連覇!!

準優勝は赤連・池治、3位は湾体協A Bクラス優勝は湾体協B

躍進賞1位は小野津チーム

第43回島内一周駅伝競走大会は11月30日、役場前を発着点に、15チームが参加して33・17km(15区間)で行われた。Aクラス優勝は1時間59分58秒で上嘉鉄Aとなり、チーム11回目の優勝を3連覇で飾った。
 2位から5位まで昨年と変わらず、準優勝は赤連・池治A、3位は湾体協Aが続いた(4位荒木A、5位湾C)。
 Bクラス優勝は2時間9分1秒で湾体協B、躍進賞は昨年度より5分44秒のタイム短縮を果たした小野津となった。



▶選手宣誓をするのは湾体協A、撰靖志選手(中学男子)



▲加藤町長の号砲とともに長いレースが始まる

◀朝からの強い雨が大会関係者をヤキモキさせたが、1時ちよほどのスタート時には、雲の合間から太陽が射した



▲沿道からの声援が選手たちの背中を押す



◀序盤は赤連・池治が優位にレースを進めた



▲優勝した上嘉鉄A(上嘉鉄Bも一緒に)

大高佳男監督(写真左端)は「前半は我慢のレースと覚悟を決めて、勝負は後半と読んでいた。14区の澄田がよく頑張ったし、アンカーの祝先生も安定した走りで逃げ切ってくれた。ともに練習に汗したBチームも含めて、選手・スタッフ全員に敬意を表したい」と3連覇の喜びを話した。



▶娘から父へタスキをつなぐ(滝川チーム、富田哲和さん、緑さん父娘)



◀今大会唯一の区間新記録をマークした藤原輝行選手。早町だけでなく43年生のEースとなった。

■【個人区間賞】

区間	氏名	時間	チーム名	備考
1区	榮田 琴美	04分19秒	上嘉鉄 A	
2区	豊 直樹	09分07秒	赤連池治 A	
3区	藤崎 由実	06分21秒	荒木 A	
4区	藤原 輝行	06分05秒	早町	新
5区	宮元志穂美	05分51秒	湾体協 A	
6区	前島 将太	13分05秒	上嘉鉄 A	
7区	撰 靖志	07分02秒	湾体協 A	
8区	郡山 涼	07分21秒	志戸桶	
9区	三浦 大輝	09分11秒	赤連池治 A	
10区	龍田 優斗	04分48秒	湾体協 B	
11区	富田 健太	11分08秒	上嘉鉄 B	
12区	真井 大樹	12分14秒	志戸桶	
13区	前泊 佑香	03分40秒	上嘉鉄 A	
	上島 仁美	03分40秒	早町	
14区	澄田 直敏	09分50秒	上嘉鉄 A	
15区	林 文仁	06分15秒	湾体協 A	

■【総合順位およびタイム】

【総合の部】平成20年11月30日

優勝	上嘉鉄 A チーム	1時間59分58秒
2位	赤連池治 A チーム	2時間00分29秒
3位	湾体協 A チーム	2時間02分22秒
4位	荒木 A チーム	2時間03分32秒
5位	湾 C チーム	2時間06分06秒
6位	湾体協 B チーム	2時間09分01秒
7位	志戸桶 チーム	2時間10分12秒
8位	早町 チーム	2時間10分49秒
9位	赤連池治 B チーム	2時間11分16秒
10位	上嘉鉄 B チーム	2時間12分26秒
11位	小野津 チーム	2時間13分56秒
12位	滝川 チーム	2時間14分20秒
13位	坂嶺 チーム	2時間15分27秒
14位	荒木 B チーム	2時間17分53秒
15位	阿伝 チーム	2時間22分54秒

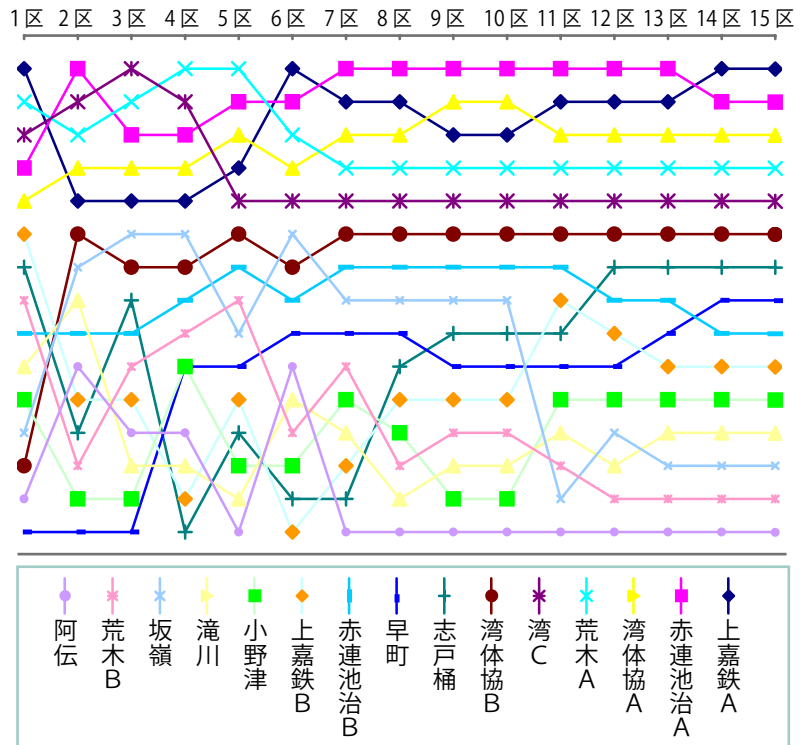
【Bクラスの部】

優勝	湾体協 B チーム	2時間09分01秒
----	-----------	-----------

【参考】

Aクラス 湾体協 A 湾 C 荒木 A
 Bクラス 湾体協 B 赤連池治 B 上嘉鉄 B 滝川
 坂嶺 小野津 志戸桶 早町 阿伝 荒木 B

■【各チーム順位経過】



■【過去10年の成績(上位3チーム)】

	1位	2位	3位
H10	湾A	荒木	上A
H11	湾C	上A	湾B
H12	湾B	上A	湾A
H13	上A	湾A	荒木
H14	上A	湾A	湾B
H15	湾B	上A	湾A
H16	上A	湾C	湾A
H17	湾B	上A	湾A
H18	上A	湾B	湾A
H19	上A	湾B	湾A

■平成元年以降の優勝回数

湾A	2	上嘉鉄	6
湾B	6	早町	2
湾C	4	その他チームはなし	

※湾Aは現在の湾体協
 湾Bは現在の赤連・池治

先輩から後輩へ「愛情」をプレゼント

喜界高校創立記念講演会及び喜高塾



農業の大切さを語りかける豊原秀和氏

喜界高等学校（月精清校長）は11月7日、毎年恒例となっている同校OBを講師に招いての創立記念講演会を同校で開催した。また、講演会後には、初の取り組みとして、同じく同校OBを講師として招き、クラス単位での講演会となる「第1回喜高塾」も行われた。

今回の講師は、東京農業大学教授（同大学評議委員会議長、㈱メルカード東京農大代表取締役社長なども兼任）の豊原秀和氏（大朝戸、昭和41年卒）。

同氏は「農業による地域の活性化ならびに国際貢献」と題し、自身のこれまでの取り組みを

交えながら「喜界島の基幹産業である農業を通じて、島を発展させるために何をすればいいのか。これから島を担う喜高生徒に農業の大切さを知ってもらいたい」と語りかけた。

続いて各クラスで行われた「喜高塾」についての講師、演題、内容については次のとおり。

普通科1年A組

講師 泉一男氏（S26普卒）
略歴 沖縄国際大学卒業後、在沖縄米軍司令部人事局職位調査官や同空軍資源管理顧問職を歴任。現在は喜高同窓会顧問。

演題 「高等学校生活は人生の大切な出発点」
内容 喜高創立当時の学生生活の実情。英語の学習法。

商業科1年A組

講師 谷本泰男氏（S36商卒）
略歴 東洋大学卒業後、森田ポンプサービスセンター入社。同社取締役総務経理部長などを歴任。現在は帰郷し、喜界島黒糖㈱設立。上嘉鉄保食神社宮司に就任。

演題 「喜界島（シマ）を旅立って思うこと」

内容 ふるさとや友について。目標をもつこと。情報化時代に思うこと。ついの住処（シマ）で…。

普通科2年A組

講師 今家英政氏（S36普卒）
略歴 専修大学（夜間）卒業後、総合警備保障入社。同社から外務省へ入省し、在ルーマニア大使館二等理事官などを歴任し総合警備保障へ復職。総警リース代表取締役社長をもって退職。

演題 「向上心」
内容 向上心があっても行動がともなわなければ向上心は無きに等しい。自身の体験などから「失敗しても勇気を持つて前進すること、周囲から信頼される意義」について。

商業科2年A組

講師 平田静也氏（S26商卒）
略歴 喜高卒業後、名瀬市役所臨時職員から名瀬簡易裁判所へ。その後、裁判所書記官研修



「向上心」を語りかける今家英政氏

所入所。鹿児島簡易裁判所を振り出しに、鹿児島検察審査会事務局長などを歴任し、現在は鹿児島地裁事務局資料課長。

演題 「我が裁判所人生」
内容 就職活動、裁判所についての能力向上、裁判員制度について。



「我が裁判所人生」平田静也氏

普通科3年A組

講師 福岡和文氏（S40普卒）
略歴 九州大学卒業後、三菱石油入社。その後、日本ベトナム石油ベトナム事務所長などを歴任し、現在は新日本石油開発代表取締役副社長。

演題 「石油開発について」
内容 石油の起源、石油の採掘、石油開発プロジェクトの実例について。

普通科3年B組

講師 吉田忠弘氏（S41普卒）
略歴 中央大学卒業後、通産省入省。大臣官房秘書課長補佐、地域振興整備公団人事課長などを経て、現在は建設荷役車両安全技術協会常務理事。

演題 「体験的霞ヶ関論 華夷の弁」
内容 通産省勤務32年で15のポストを経験。国家公務員として正義を貫くことができたのは喜界島が育んでくれた「誇り、気概」であった。「華夷の弁」の意味は、吉田松陰が松下村塾の教育理念として掲げた「中央に劣等感を持つのではなく、自分の郷土に対する誇り」を持つということ。来春卒業する皆さんも島を誇りに、志を持って人生を歩んで欲しい。

商業科3年A組

講師 瀧正毅氏（S35普卒）
略歴 喜高卒業後、教員となる。第一中学校校長を最後に退職し、現在は町図書館館長。

演題 「夢！その実現に向けて」
内容 島のよさ、夢を持つことの素晴らしさ、組織・社会の一員としてなど。

※今回の講師選定や講師依頼などは喜高同窓会が協力しました。

栄舞さん(早中1年)全国の舞台で見事4位入賞!!

第5回 全日本中学生女子相撲大会

全九州女子相撲大会で3位入賞を果たした栄舞さん(佐手久早町中1年※本誌10月号14ページ参照)が駒を進めた第5回全日本中学生女子相撲大会(岡山県本相撲連盟主催)が11月9日、静岡県の焼津市総合体育館シールドームで開催された。

注目の栄さんは軽量級(60kg未満)に出場し、初戦は勝利したものの、二回戦で惜しくも敗退した。大会ルールにより、対戦相手が決勝戦まで進出したため敗者復活戦にまわって勝ちすすみ、3位決定戦では敗れたはしたものの見事4位入賞した。



全国の大舞台にも気合い充分

栄さんは、体重46kg、身長154cmといちばんの小兵力士であったが、各地区を勝ち抜いた強豪たちの体格は、体重55kg、身長は160cm前後であり上級生がほとんどであった。まさに、「小よく大を制す」の活躍であった。

また、1回戦では、栄さんの手が先に土俵にふれ、一部観客もそれに気づいたが、審判団は気づかず「物言い」も付かなかつた。運も味方に付けた「チョーラッキー(栄さん)」な勝利であった。

普段から稽古をつけ、今回の遠征も引率した倉橋憲司さんは「負けず嫌いで、あの大舞台でも緊張する様子がなかった。一回戦ではヒヤリとしたが、この子は『何か』を持っている。その後を勝ち進めてよかったが、まだまだ足りないところが多い」とほめながらも注文を付けた。

栄さんも「技はもちろんですが、基礎的な体力がなければ全国では通用しないことがわかりました」、「他の選手の取り口を見て、とても参考になりました」と試合を振り返った。



倉橋監督にアドバイスを受ける

* * *

大会会場の静岡県焼津市へは、飛行機と新幹線を乗り継いでの長旅。「都会をみて、やっぱりシマがいいと思った。すぐに家族や友達と会いたくなかった」と話し、途中の駅で、芸能人のDAIGO(編者註…DAIGO。竹下登元首相の孫でもある)を目撃した際には、普段テレビで見かける芸能人と会えたことよりも、同行した母親の智代さんが「長旅で疲れてたのに、DAIGOを見た瞬間に急にテンションが上がったのがウケた」と笑う。

倉橋さんは「体を作らないといけないのに、好き嫌いばかりであり食べない。お菓子ばかり」と顔をしかめる。そんな栄さんは、全国クラス

の選手とはいえ、いったん相撲を離れると、やはり13歳で思春期の女の子である。

* * *

大会後には、北京五輪女子レスリング監督の栄和人中京女子大学教授に面会し、愛知県大府市にある同大学・同大学附属高校レスリング部の合同練習を見学をする機会に恵まれたという。

見学の感想を「みんなすごい練習をしていた。監督は私には優しくしてくれていたけど、学生を指導しているときはすごい恐かった」、「ウェイトトレーニングを見てもらい『最初からこんなに出てくる子は珍しいね』といってもらえた」などと話した。

また、五輪2大会連続金メダルの吉田沙保里選手とも話す機会があり、吉田選手から「練習はつらいけど、やり続けてよかった」との重みのある一言を聞くことができ、栄監督からは「こつちに來たら島には帰れないけど、両親とよく相談して来たいなら來なさい」と声をかけられたという。



吉田沙保里選手と

* * *

「これだけはいわせてください」と自分から口を開いた栄さんは「今回の遠征はとてもいい経験をさせてもらって楽しかった。旅費も島の皆さんから寄付してもらったので、この場を借りて『ありがとうございます』といわせてください。それだけに一回くらいは勝たないと島に帰れないと思ってましたが、結果が残せてよかったです。本当に応援してくれる皆さんのおかげです」と話した。

最後の質問として、将来はレスリングの道に進みたいかと聞かれた栄さんは「今回で何となくイメージができた。両親と相談しないといけないけど、やってみたいと思います」と言葉を選びながら話した。



全国の舞台でも「舞ちゃんスマイル」



「長野って外国より遠いの？」
～夢とロマンをのせた小さな羽～



智さんと弟の陽(あきら)君5才

本土が冷えこみだす毎年10月に、「蝶の飛び交う隆起珊瑚礁の島」喜界島に渡ってくる蝶がいる。その名はアサギマダラ。

9月14日に長野県下伊那郡大鹿村の鳥倉林道で放たれたアサギマダラが、喜界島の滝川林道で11月3日、再捕獲された。

アサギマダラは渡りをする事で知られ、長野県で放たれた個体が、2,190km離れた台湾で再捕獲された事例もある。喜界島はアサギマダラの中継地・越冬地として有名であり、渡りシーズンには全国のアサギマダラを追いかける、熱心なファンの姿が百之台周辺で見受けられる。

今回のアサギマダラを放したのは、愛知県安城市に住む会社員、石浜芳彦さんの長女、智(さと)さんで、羽に油性ペンでマーキングされていた「TOR、さと」により確認された(TORは放蝶である鳥倉林道の略、表紙参照)。

それを再捕獲したのは、上地義隆さん(湾、役場勤務)の次女、美緑(みのり、湾小1年)さん。アサギマダラの捕獲をはじめて3回目での、いきなりの「大物ゲット」であったという。

自らが放したアサギマダラが、喜界島で再捕獲

されたことを聞いた智さんは「同じくらいの歳の女の子が捕まえてくれて、すごくうれしい。喜界島に行って会ってみたいです」と喜んだ。

また、芳彦さんは「アサギマダラを追っていると、その他の生きもの、植物、気象など、様々な自然の移ろいの発見がある。小さな体でダイナミックに移動するアサギマダラと触れ合うことにより、自然の大切さ、命の尊さを子どもたちが理解するきっかけになれば」と願う。

再捕獲したアサギマダラが放たれた場所が、長野県と聞いた美緑さんは「長野って鹿児島より遠いの？ディズニーランドより？外国よりも？」と興味津々であったという。

長旅を続けたアサギマダラは、羽にのせた「夢とロマン」を喜界島でのせ替えて、さらに南を目指す。そしてあるものは、喜界島を越冬の地と選び、「夢とロマン」を次の命へふたたび託し、その「遙かなる短い旅」を終える。



アサギマダラチビッコ捕獲団の面々
(左から、弟の琉喜君2才、姉の佑奈さん小2、美緑さん、親戚の竹内義毅君小2)

川畑さおりさん、総理大臣
審査員奨励賞受賞!!

平成20年度の民謡民舞全国大会(勸日本民謡協会主催)が10月19日、東京の両国国技館で開催され、川畑さおりさん(湾、湾幼稚園勤務)が、総理大臣奨励賞を受賞した。

川畑さんは、鹿児島県民謡王座決定戦決勝大会(本誌8月号8ページ参照)で全国への切符を勝ち取った「嘉徳なべ加那節」に、さらに磨きをかけて披露。惜しくも優勝には手が届かなかったが、審査員奨励賞を受賞した。

大会を終えて川畑さんは「さすがに全国のレベルは高いと感じましたが、のびのび歌うことができたのでよかったです」と話し、当日夜は、東京喜界会と東京瀬玉会(瀬玉・早町泊一帯を指す地名)から慰労会に招待されたという。「島のみなさんをはじめ、全国にいる郷友会の方々の応援は大変ありがたく心強いです」と感謝した。



奨励賞の盾と賞状を手に微笑む川畑さん

新会館で工業発展の新たな
一歩を
〜商工会館移転〜



喜界町商工会(豊岡力会長、写真左)は、これまでの商工会館を、現在は町が保有する農水省水利事業所跡地に移転して10月7日、同跡地において移転開所式をした。

これまでの会館は築30年が経過し、塩害などで老朽化がすすみ安全が確保できない状況であった。そこで同跡地への移転要望が商工会県連合会から町へ出され、これまでの会館建設の補助金交付元である県からも財産処分(会館閉鎖)を許可されたことから、今回の移転となった。

移転開所式であいさつした豊岡力会長は「かねてからの念願であった老朽化した前会館からの移転が、町の協力により実現できました。商工会員の活動拠点として大いに活用され、さらなる本町商工業の発展に寄与することを願います」と話し、来賓の加藤啓雄町長は「商工会と町が車の両輪として、うるおいのある豊かで暮らしやすい島づくりのため、ともに手を取り合い新たな一歩を踏み出しましょう」と話した。

鹿児島喜界会敬老会

一五〇人が集い盛大に開催

鹿児島県在住の喜界島出身者で組織する鹿児島喜界会（卓間謙二郎会長）は10月19日、一五〇人を集め、敬老会を県婦人会館で開催した。

会では直島秀守収入役が来賓として出席し、加藤啓雄町長のあいさつを代読し、町政報告をした。

余興の部では、小野幸子さんによる祝儀舞や各集落ごとの出し物やカラオケなどで盛り上がり、全員参加の六調で幕を閉じた。

会の終了後も、参加者たちは名残惜しそうに「ヤニム、ヒンニヤジユラオウヤ」などと声を掛け合っていた。

（友岡藤一郎さん報告）



八月踊りを楽しむ参加者ら

各集落でウヤンコー 祖霊に感謝、帰省客と旧交

墓前で祖霊を祭る行事であるコウソ祭（ウヤンコー）が11月18日、シバサシをしない集落（本誌10月号7ページ参照）であった。

コウソ祭の日は旧暦9月の壬戌（みずのえいぬ）の日であり、他集落に住む血縁者も参加できるように集落間で時間をずらし、シバサシとは別に日に行われるようになったといわれるが定かではない。

中里集落の墓地（ハカバシヨ）では、午後2時に、野間直一区長代行のホラ貝の音とともに墓参が始まった。

それぞれが、墓前に花や菓子を供え、線香をたいて手をあわせた。その後は線香の束を持ち、親類縁者の墓前を回る姿がみられた。

墓参者には、島外に暮らす人々もあり、なかには数十年ぶりに帰省した人や、還暦祝いには帰れなくとも「ウ

ヤンコーだけは外せない」という人もいた。

この日は「記憶にない」（野間区長代理）という、あいにくの雨に見舞われ、多くの墓参者が「ゴメンドー。アミジャティ、ニヤームドウラヤー」と墓前に手をあわせ、終了のホラ貝を聞くまでもなく、足早に墓地を後にした。



線香を片手に親類縁者の墓前へ

奄美警察署より

「チムスラサ」の心を

～シマの安全・安心は子供のうちから～

報告 奄美警察署交通課長 小村愼智警部

私は本年9月、奄美警察署の交通課長として着任しました。着任して10日も経たない内に、3名の尊い命が奪われる悲惨な現場を目の当たりにして、交通安全を担う交通課長としての重責を痛感しております。

私は常々「我々に一番身近な危険は交通事故である」ことを訴えて、奄美の方々が、不幸な交通事故の当事者とならないよう、交通安全広報や指導取締りに取り組んでいます。現在、特に力を入れて取り組んでいるのが、自転車の安全利用です。

最近のエコブームや燃料費の高騰などで、自転車の利用は益々増えると思われませんが、奄美の自転車利用の現状を見ると、無灯火、右側通行、並進、片手運転等々、危険な利用者が多く、安全教育が徹底していないことが窺われます。

ルール無視の危険な利用者は、その場で指導・警告していますが、なかなか改善されません。そのため、人格や行動習性の形成期にある子供のうちから、体系的な交通安全教育を行うことが効果的であると考え、小学生の自転車大会を開催することとしました。

この大会は、全国的には、昭和39年から開催され、鹿児島県も例年代表チームを参加させていますが、奄美では経費の問題等もあり、県大会への参加もできずにいました。そこで、来年の1月17日、奄美地区交

通安全協会と連携して「第1回交通安全子供自転車奄美地区大会」を開催し、その優勝チームを県大会に出場させることになりました。

大会は、小学4年～5年生の5人1組で、交通ルール等に関する筆記試験と、コースを設定した実技試験で行います。

先日は、大会に向け「子供自転車大会指導者育成塾」も開催し、夢は大きく、県大会を優勝して全国大会出場を目指し、本格的に動き出しました。

この大会が年々充実していくことで、子供達の交通安全意識はもとより、規範意識を高めることに繋がり、ひいては、奄美の安全・安心な街づくりに資するものであると確信しています。

子供達は、次代を担う島の宝であります。交通事故や犯罪から守り、健全に育成して、より安全・安心な美しい奄美の実現に、今後とも御協力をお願い致します。



暗くなったら「すぐ点灯」

確かな「基礎学力」
の定着を目指し
て！

平成20年度町教委嘱P T A
活動研究公開

11月8日(土)に公開校である早町中学校で標記研究公開が開催されました。

町P連では、「子どもに家庭学習の習慣を身につけさせるためには、学校・家庭の連携や取り組みはどうすればよいか。」を3年前から共通の研究主題を設定し、家庭学習の習慣化を図っております。



早町中学校全
体による
合唱

早町中学校による発表では、「家庭における子どもの生活習慣の改善を目指して」というサブテーマを設け、3つの専門部の取り組みが発表されました。生活習慣の改善が家庭学習の習

慣化につながることに着目し、それぞれの専門部が独立することなく、連携が図られた取り組みに、参加したP T A会員は、関心を寄せていました。

また、九州ブロックP T A協議会表彰伝達式へ荒木小学校P T Aや喜界幹部派出所の慶田孝所長の講演もあり、P T A活動の充実や会員の資質向上と連携を深める一日になりました。

出前教室がやってきた！

平成20年度健やかいきいきスポーツ体験「教室」

鹿児島県総合体育センター主催の標記教室が11月15日・16日に本町で開催されました。へ共催・町教委

一日目は、ニュースポーツ体験で3グループに分かれ、スナッグ・フロッカー・キンボールなどの今まで体験したことのないゲームにチャレンジしました。

二日目は、みんなで協力しながらボールを運ぶタグラグビーの楽しさを体験しました。参加した子どもたちから、「とても楽しかった。また、チャレンジしてみたい。」という感想が多く聞こえました。

子どもとの「コミュニケーションのとりかた」
学ぼう！



子どもはもちろん、大人も童心に
返り楽しんだようです。

子育て・親育ち講座

本年度からスタートした「地域における家庭教育支援基盤形成事業(文科省委託事業)」で第1回目の子育て・親育ち講座を11月16日(日)に役場コミュニティホールで開催しました。

講師に親業訓練インストラクターの「有馬まゆ美」先生を招き、「親の子どもへの関わり方」という演題で講演がありました。

内容は、子どもが発しているサインを能動的な話し方(心を聞く)を行うことにより自分で考え、自分で行動でき、課題解決できる子どもが育つということでした。

若い保護者も多く詰めかけ、真剣な眼差しで聞き入っていました。

第14回喜界町生涯学習
推進大会実践事項

第6分科会
〈活力あるふるさと産業部会〉

【実践事項】
地域の特色を生かした環境保
全型農業を営み、各分野にお
る担い手不足解消に努めます。

この第14回喜界町生涯学習推進大会実践事項の掲載は、今月号で最後となりました。

本町は、「農業立島」と呼ばれ、喜界島産の素材や特産品が脚光を浴びるようになりました。しかし、担い手不足など課題は多々あります。

町民一人一人の一步前進がよい良い島づくりにつながります。これからも、町民一丸となって課題解決に向けて取り組んでいきたいと思います。

大島地区研究協力校荒木
小学校「基礎学力定着」
研究公開

十月二十八日(火)に、大島地区研究協力校の荒木小学校で

研究公開が行われました。荒木小学校は、平成十九・二十年度の二年間の指定を受け、国語科の「読む力」を中心に研究を進めてきました。

当日は、岸本はすみ教諭が第二学年の「サンゴの海の生き物たち」、吉岡あけみ教諭が「ニュース番組作りの現場から(第五学年)・平和のとりでを築く(第六学年)」を授業公開しました。どちらの授業もこれまでの研究を進めてきた「言語事項の指導を重視した『読む力』の定着」を踏まえた授業内容でした。

子どもたちも積極的に発言し、生き生きとした姿を見せました。参加者六十名(島外参加者十二名)は、荒木小の子どもたちの学習意欲に感心しきりでした。



2年生の研究公開授業

平成21年度鹿児島県大島紬技術指導センター

伝 習 生 募 集 要 領

1 目 的

大島紬に関する専門知識及び技術を修得させ、優秀な中堅技術者となるべき後継者の養成を図る。

2 養成期間

平成21年4月から平成22年3月までの1年間

3 募集人員

デザイン科・染色化学科・締加工科 各科2人（計6人）

4 応募資格

本県に居住する者で、義務教育修了（見込）又はこれと同等以上の学力があると認められ、心身ともに健康であり、将来大島紬製造業に従事する者。

5 応募方法

次の書類を当センターあて提出すること。（郵送も可）

- ① 願書（別紙第1号様式）
- ② 履歴書（別紙第2号様式）
- ③ 住民票
- ④ 医師の健康診断書
- ⑤ 最終学校の卒業（見込）証明書

6 願書受付期間

平成21年2月6日（金）から平成21年3月6日（金）まで

7 選考方法

筆記試験及び面接試験

8 試験の期日及び場所

期 日 平成21年3月10日（火）午後2時から

場 所 鹿児島県大島紬技術指導センター

9 入所決定者発表

期 日 平成21年3月12日（木）午前10時

場 所 鹿児島県大島紬技術指導センター掲示板に掲示（電話による問い合わせ可）

10 応募者心得

選考日には筆記用具を携行し、午後1時30分までに選考場所（当センター）に集合すること。

【連絡先】 ☎ 894-0068

住 所 奄美市名瀬浦上町48番地1 鹿児島県大島紬技術指導センター 総務課

電 話 0997-52-0068 (FAX) 0997-55-1101

Eメール ostumugi@pref.kagoshima.lg.jp

調理師の皆様へ

平成20年度は、2年に一度の「調理師業務就業届」を提出する年です。

【届出の必要な調理師の方々】
調理師免許を持っている方で、平成20年12月31日現在において、寄宿舍・学校・病院・事業所・社会福祉施設・介護老人保健施設・矯正施設・飲食店・その他多人数に飲食物を提供している施設・魚介類販売業・そうざい製造業などで、調理業務に従事している料理師の方々です。

【届出の方法】
「調理師業務従事者届」を平成21年1月15日（木）までに名瀬保健所にご提出下さい。
保健所には、県庁健康増進課ホームページに掲載しており、ダウンロード出来ます（ホーム↓健康・福祉↓健康・医療↓資格）。役場すこやかセンターにもあります。

【問い合わせ先】

名瀬保健所

TEL 52-5411

〒894-0032

奄美市名瀬柳町2-1



藤原優花さん男子を連破し優勝（小学6年の部）

最優秀選手賞に久里佐さんが輝く!!

〜第24回奄美空手道選手権大会〜



各部門で熱戦が繰り広げられた

見事優勝した。

他の喜界道場生も、美島終斗くん（幼年の部）、永井颯太くん（小学4年の部）、福田春樹さん（一般初級の部）などが優勝に輝き、他の道場生も上位入賞を果たした。

注目の最優秀選手賞には、女子の部に最年少で出場し、惜しくも優勝こそ逃したものの、久里佐さん（荒木、第一中1年）が輝いた。新極真会の緑健児代表（極真空手元世界チャンピオン）は「最後まであきらめない、闘争心あふれる空手だった」と評価した。

受賞の喜びを久さんは「決勝戦で負けて悔しかった。まさか最優秀選手賞をもらえるとは思わなかったけど、大会にそなえ



一躍注目の久里佐さん

受賞作品は、「がんばれる
僕におどろく僕がいる
それがなんとも
おもしろい感じ」
というもので、勉強や部活動などの学校生活を通じて自分が思

て中西の坂道を走り込んだりした成果が出せた。これからも稽古に励み、全国大会にも出場したいです」と話した。

大塚浩士君が大賞を受賞
第1回まごころ青春短歌大会



8,172人のなかから選ばれた大塚君

県内の中高生を対象にした「第1回まごころ青春短歌大会」（同実行委主催）の表彰式が11月8日、薩摩川市で開催され、大塚浩士君（塩道、早町中2年）の作品が、中学生の部で最高賞である「まごころ青春短歌大賞」を受賞した。

う以上に努力し、それが結果として現れたことに対し、素直にその喜びと驚きを表現している。

今年度の出品作は、県下87校8172人から13161首の応募があり、大賞は高校生と中学生の部からそれぞれ一首だけを選出するというもの。

「チョー」難関をくぐり抜けての受賞に浩士君は「少しは自信があったが、まさか大賞とは半信半疑で気が動転した」と驚きを隠せない様子で感想を話した。知らせを聞いた父親の浩也さんも「サスガワーツカジャ」と得意顔だったという。

森真由美さんが九電賞受賞
第17回わたしの絵コンクール

県内の小中学生を対象にした「第17回わたしの絵コンクール」（九州電力株式会社鹿児島支店主催）で、森真由美さん（志戸桶、志戸桶小4年）が小学4年の部で九電賞（最高賞）を受賞し、11月11日、同校校長室において賞状と副賞の目録が宮下格二同社奄美営業所長より手渡された。

受賞作は、森さん宅の近所にある商店を描いたもの。「うまく電線を取り入れ、しっかりした構図を評価」（審査委員、梶原正博同社執行役員支店長）さ



目録の中身は画材セット

今年度の出品数は、県内の小学校からこれまでで最多となる9810点の応募があり、入賞者500人（各学年ごとに九電賞1人、特選2人、入選473人）が選ばれた。
受賞の喜びを森さんは「たくさんの方の応援のおかげで、とてもうれしかったです。画材セットでは友達とかの人物面を書きたいです」と話した。



受賞作「近所のお店屋さん」千点を超える4年生の作品の中でトップ

第24回オープントーナメント奄美空手道選手権大会（同実行委員会主催）は青少年育成チャリティーと銘打って11月23日、町体育館で開催された。
大会には幼年〜一般上級の部で行われ、奄美地区をはじめ遠くは東京や福岡、熊本から80人が出場した。
なかでも小学6年の部に出場した藤原優花さん（西目、坂嶺小）は、並みいる男子を連破し、



食改さんの活動紹介

食生活改善推進員の皆さんは、今年度から体制一新でスタート。「地域へ広げていく活動」を展開していきます。その手始めとして、11月24日に小野津集落で料理講習を行い、幅広い層の女性の皆様19名が参加しました。メニューは、

- キノコの混ぜご飯
- 野菜のカレー風味煮
- カンムツチャー
- 大根の千枚漬け

食改会長の奥さんは、「ヘルシーメニューを広めるだけでなく、郷土の味も一緒に伝えて行きたい。私たち食改は料理好きのメンバーが集まっているので、料理実習をご希望の際は、いつでもお声かけください」と挨拶がありました。参加者からは、「薪で長時間蒸して作るカンムツチャーが圧力鍋を使って手軽にできるなんて!」との声があり、他の料理についてもメモを取る姿が見られ、料理を通じた交流のひと時となりました。

※料理講習などの依頼は、会長の奥智恵子さん（TEL 65-1173）までご連絡下さい。



「認知症介護教室」より

11月16日、23日の「認知症介護教室」に21名の方が参加されました。診療所の榎本先生の認知症の原因や症状、治療についての講話とすこやかセンター職員の利用できる制度についての説明、グループホーム「がじゅまる」管理者・早川さんの認知症の介護についての講話などを通して学びました。

①説得するより本人が納得できる方法で②プライドを大切に③不安の解消…物忘れや理解力、



グループホーム見学

判断力の低下が進むと本人も不安が強くなり怒りっぽくなったり周囲とトラブルを起こしたりすることもありますが、周りの「大丈夫よ、心配ないよ、ありがとう」のやさしい声かけで不安が和らいだり、乗り越えたりできるそうです。

でも、常に身近で接する家族はそんな余裕がもてないことも多々あります。時には怒ってしまうことも絆の強い家族だから後を引かないことも多いそうです。やさしくできない自分を責めずに、家族も気分転換をしたり、話し相手をもったりしましょう。家族だけで抱え込まず、周囲に話して協力をもらうことも必要です。いつか私たち自身や家族も認知症にかかるかもしれません。ご本人や家族を周囲の暖かい見守りで支え合いができるといいですね。



3歳児健診でむし歯ゼロだったよ!



岡本 莉愛ちゃん



基 陽斗くん



黒田 杏菜ちゃん



今井 康聖くん



住友 晴哉くん



盛崎 凱くん



西原 ゆなちゃん

●料金の改正

家電リサイクル法（正式名称「特定家庭用機器再商品化法」）は、家庭や事業所から排出された使用済み家電製品の部品や材料をリサイクルして、ごみの減量と資源の有効活用を進めるための法律です。

11月1日から、別紙のとおり、冷蔵庫が3区分、テレビが2区分、エアコンの値下げ等、3点について変更されました。

負担する料金は、「販売店などの収集・運搬料金」＋「メーカーのリサイクル料金」です。

収集・運搬料金は電気商業組合加盟店であれば、別紙料金表のとおりですがリサイクル料金は製造業者等により異なりますので、排出の時に確認しましょう。

●不法投棄の禁止

家電等の不法投棄は、周りの迷惑になり、環境にも悪い影響を与えます。また、不法投棄は廃棄物処理法により固く禁じられており、違反した場合は重い罰則を受けることになります。

家電製品は大切に使い、使い終えたら小売業者などに適切に引き渡ししましょう。

●加盟店

ひろでんき、吉川電器、ツル電機商会、喜界文化、大成無線、クボデン、早町放送社、サンヨー社、豊島電気の九店舗になります。

●料金表

品名	区分	リサイクル料	運搬料 (海上・陸送含)	計
冷蔵庫	401ℓ以上	4,830	6,570	11,400
	400ℓ以下	4,830	4,370	9,200
	170ℓ以下	3,780	4,320	8,100
テレビ	16型以上	2,835	2,865	5,700
	15型以下	1,785	2,915	4,700
洗濯機	一律	2,520	3,980	6,500
エアコン	一律	2,625	3,675	6,300
冷凍庫	一律	4,830	4,370	9,200

※運搬量には、海上輸送費、陸送費、収集手数料等全て含む

●処理方法

原則として、製品を購入したまたは買い替えする小売店に引き取りを依頼してください。

●問い合わせ先

住民課生活環境係
電話 65・1111（内線33）

製造事業所の皆様へ

統計調査に御協力ください

経済産業省では、工業統計調査を平成20年12月31日現在で行います。

調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお、調査票に記入していたいただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

経済産業省
鹿児島県
喜界町

●問い合わせ先

役場企画課統計係
電話 65・1111（内線24）

※我が国の産業構造の変化を調査・追跡し、よりよい経済・産業政策に活用されます。

鹿児島県最低賃金が時間額 627 円に !!

鹿児島県最低賃金が平成20年10月18日より時間額627円に改正されました。

鹿児島県最低賃金 (地域別最低賃金)	最低賃金額	効力発生日
	時間額(円)	
	627	平成20年10月18日

鹿児島県最低賃金は県下のすべての労働者に適用されます。ただし、別に定める特定（産業別）最低賃金の産業に該当する場合は、当該最低賃金も適用されます。

★最低賃金に関するお問い合わせ先★

鹿児島労働局（099-223-8278） ・ 各労働基準監督署
<http://www.kagoshima.plb.go.jp/>
【最低賃金テレホンサービス 099-223-8881】

使用者も
労働者も

1 2月は町税滞納徴収強化月間です！

納税の公平と税収の確保を図るため、1 2月を「町税滞納徴収強化月間」として、電話催告や夜間徴収などの徴収強化に取り組みます。

◆自主的な納付

税金は自主納付が原則です。納期限を過ぎても納付がない場合は財産等の滞納処分（差押・公売など）をしなければなりません。差押等の滞納処分を受けますと社会的信用を失うことにもなります。

◆税収確保に向け、次のような取組を行っています。

納税催告	納期限を過ぎても納付がない方に対し、督促状・催告書等の送付、電話催告、自宅訪問、勤務先訪問を行います。
財産調査	滞納者の財産について、金融機関、保険会社等に対し調査を行います。
給与調査	滞納者の給与を差押するため、勤務先に対し給与の調査を行います。
差押処分	預貯金や不動産・生命保険、給与などの差押を行います。差押後も納付されない場合、差押財産の公売を行います。

納期限までの納付が困難なときは・・・

税務課（庁舎1階）では、納税相談を随時行っています。納期限までに納付することが困難な場合は、必ず相談してください。

町税の口座振替

納税者の指定した口座から納期日に振替納税されます、安心して便利な口座振替をご利用ください。口座振替を希望する方は、町の指定金融機関または郵便局でお申し込みください。

●問い合わせ先：役場税務課 65-1111（内線41）

シマの入り江と潮だまり

～前金久編～

言い伝えなどについて

メエヌクドウマイ（前金久泊 写真①）

入り江のなかに神様岩として小さな岩礁がある。戦後しばらくまでは、旧暦の一日と十五日には信仰に厚い人達が焼酎をこの岩礁にお供えしてその上で拜んでいた。さらに昔は、白装束のノロ神様達がよく拜んでいたという。

ハチイヤトウ（写真③）

ハチー（イラブチの仲間、ブダイ）が特に多く、なかでもナポレオンフィッシュ（ガバチー）も見受けられ、絶好の追い込み漁のポイントである。

スウハマ（塩浜、写真⑦）

その名のとおりに、この周辺に塩田が多かった。

ナガサキ（メエヌクナガサキ、前金久長崎、写真②）

絶好の釣りポイントである。小野津漁港の対岸には、ハミヤナガサキ（神宮長崎）がある。

ワタナンクワ（写真⑨）

まだ泳ぐことができない幼い子供たちが水遊びをしたところ。

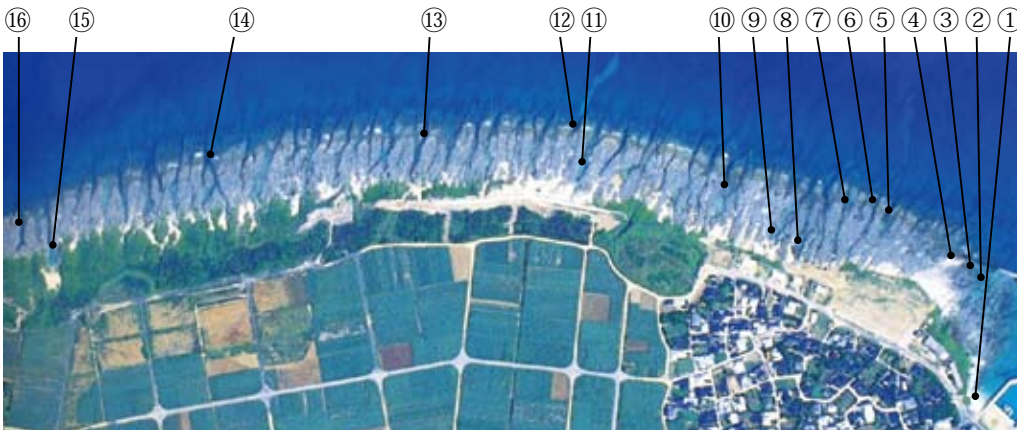
ヌルクンムイー（写真⑩）

その名の由来は「ノロ（神事を行う女性司祭、ヌルともいう）がこもる場所」。そのノロが神事の際に水を汲んだという。

ウマウンミヤトウ（写真⑪）

この砂浜は深く掘っても岩盤に当たらないため、死んだ馬を埋める場所であったという。そのためだろうか、ウミガメの産卵場所でもある。

- | | |
|-----------|-----------|
| ①メエヌクドウマイ | ⑨ワタナンクワ |
| ②ナガサキ | ⑩ヌルクンムイー |
| ③ハチイヤトウ | ⑪ウマウンミヤトウ |
| ④シヤフムイ | ⑫ミザレー |
| ⑤ツウブオサー | ⑬ウルメ |
| ⑥ツルバサマー | ⑭タマター |
| ⑦スウハマ | ⑮ウマラ |
| ⑧ハナッキー | ⑯タージル |



（写真は「空から見るわがまち」より）

ご存知の各集落の入り江や潮だまりに関する言い伝えや行事等があれば、企画課までお知らせください。
連絡先 65・11111（内線23）

特別障害者手当等について

在宅の重度障害者（児）に対して、特別障害者手当等が支給されます。

1 特別障害者手当

精神・知的または身体に、著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の方に対して支給されます。（本人及び扶養義務者に対し所得制限があります）

※病院または診療所に3ヶ月以上継続して入院している方、施設入所者には支給されません。

・支給額：月額26,440円（支給額は平成20年4月現在）

2 障害児福祉手当

重度の障害の状況にあるため、日常生活において常時の介護を必要とする20歳未満の方。（対象児童とその扶養義務者に対し、所得制限があります）

※施設入所者、障害を支給事由とする給付（公的年金）を支給している方は支給されません。

・支給額：月額14,380円（支給額は平成20年4月現在）

●お問い合わせ先

役場保健福祉課 65-1111（内線35）

喜界歌壇

八十路なる生きがいにして短歌を詠み時に詠み泥む重き日もあり
林 蓮香

憧れとうつのはさまに揉まれきて見果てぬ夢を星にたくせり
北島 シナ

老いゆくに短歌詠む人は呆けないと生き甲斐として短歌詠み続く
有村 道子

吹く風をしきり留めてガジユマルの木の間に漏るる十六夜の月
平尾 チヨ

喜びも悲しみも共に包み込み穏しく生きる八十路の日々なり
屋良ミノ子

島人の暮らし支えし島紬織る生業を生き甲斐とせり
美代 イシ

変りゆく世相の中に歳重ね短歌詠む心うるおして過ぐ
郡 市子

離れ住む子等我思い我子を思ふみ仏に祈るを生き甲斐として
弥島 幸子

老いてよりショッピングカー引く道沿いに扉より枝垂る萩の清しさ
武田 幸子

震度5のあと平穏に風ぐ島に生き甲斐として歌を詠みつぐ
嶺倉 祝子

戸籍の窓

こんにちは 赤ちゃん

氏名	保護者	住所
竹島 光陽	信一	赤連
中山 透音	公平	赤連
横山 美星	竜也	赤連
當原 心美	竜也	赤連
俊原 桜佑	光広	赤連
中督 結凪	洋志	赤連
盛花楓	なつみ	赤連

いつまでも お幸せに

氏名	住所
田島 将太	鹿島
柴田 真奈美	早見

ごめい福をお祈りします

住間所	赤連	中連	赤連	池連	赤連	塩道
氏名	基彰	吉浦	折田	我原	中村	嘉村
住所	赤連	赤連	赤連	赤連	赤連	赤連
年齢	72	97	68	54	87	85
才	才	才	才	才	才	才

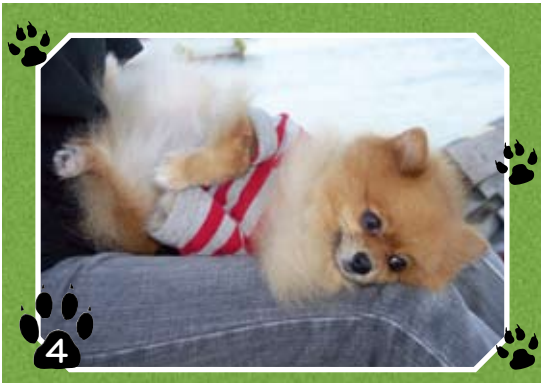
社協だより

香典返し(敬称略)

志戸桶	濱井 上治
佐久美	初子
島中	美島 信子
上嘉鉄	富山 利明
中山	中村 幸子
白間	清水 松乃
白島	清水 喜代
宮古島	上園 ひろの
(小野津出身)	
(伊実久出身)	仙原 五十八
赤連	渡瀬 正久
伊砂	賀和 江
白湾	嘉村 茂憲
白湾	廣山 スガ
白湾	周吉

喜界町の推計人口 (平成20年11月1日現在)

世帯数	3,757戸 (-3)
人口	8,248人 (2)
男	3,926人 (-1)
女	4,322人 (3)



今月のわんこ
盛崎 ラブさん
ポメラニアン
赤連 8才

「私は8歳の女盛りだけど、男の人が大嫌いな。家に男の人が近づくと吠えますよ。足音がするだけで『女のカン』でわかるんだから。その代わり女性の方は大歓迎。お母さんの友達が遊びに来たときはとってもうれしいんだけど、帰るそぶりを見せただけで怒って引き留めるくらいなの。美しさの秘けつ? そうねえ、欠かさず続けている毎朝5時の散歩かしら。」

編集後記

「ウヤンコー」の名前考

シバサシ(柴指・柴挿)については広辞苑に記載されているが(本誌10月号7ページ参照)、ウヤンコーの語源については不明な点がある。喜界町史やシマの民俗学の書物などでの漢字表記は、「高祖祭」「考祖祭」の二通りであり、いずれも広辞苑には記載されていない。広辞苑によると「高祖」は、①祖父の祖父。②遠い祖先。(以下略)とある。また、「考祖」の記載はないが、「考」については、①かんがえること。かんがえ。の他に、④死んだ父。「祖」については、①父の父。②一家の初代。(以下略)とある。さらに、親や祖父の法事や供養などを意味するシマユミタの「コオ」は、「考」を当てるものと思われるので、これらの

ことから、先祖代々の墓前で祖霊を祭る行事としては、「高祖祭」が相応しいと思われる。しかしながら、「考祖祭」も先人達が使いつけてきたものであり、また、シマの先人達は「考」のなかにウヤフジの意味を持たせていた可能性もある。「親(ウヤ)ン「コオ」である。したがって、「高祖祭」も「考祖祭」も、両方正しいと考えたほうが自然であろう。ちなみに、喜界島出身の民俗学の権威であった竹内謙は、自身の著書では「コウソウ祭」と記していた。さすがの権威も、どちらかを選ぶことはできなかったのだからか。〈追記〉親孝行の「孝行」は、「こうこう」以外に「きょうこう」とも読む。この場合は「親の追善供養」という意味になる。これについては、関連があるのかは不明である。(植村)

11-12
月

島に 咲く花

ススキ (薄、芒、茅、萱、尾花)



シマコミタではドウシチャー。保食神社前（嘉鈍）にて。鳥居の向こうに見えるサトウキビと同じイネ科である。内地では冬に黄色く枯れるが、シマでは常緑である。十五夜の「中秋の名月」として、月見の際に団子や酒とともに、ススキを飾る美的感覚は日本人ならでは。他にも万葉集などによく詠まれるなど古くから生活に密着した存在であった。家畜のエサや堆肥として利用され、小さなホウキをつくり、トタン屋根が普及するまではシマの家屋は茅葺（ガヤブキ）屋根であった。子供の頃、ノコギリ状の葉でよく手足を切ったことも懐かしい。時代の変化により、今では単なる雑草として扱われ、少しかわいそうな気もする。

花ことばは「活力」「精力」「心が通じる」。やはり良い言葉が並んでいる。



ゲッカビジン (月下美人)

メキシコの熱帯雨林地帯が原産のサボテン科である。その名のおり夜に咲き、「美人薄命」とばかりに数時間ではかなくしぼんでしまう。夜、大きな花を咲かせるのは、コウモリを介して受粉させるためだという。なるほど、月明かりを浴びた神々しいまでの白さと、何ともいえない強烈な香りは、コウモリならずとも引き寄せられてしまうだろう。



サボテン科らしく、あまり手入れをせずとも容易に栽培できるが、逆に水や養分を与えすぎると過栄養となり花を咲かせない。食用にもなり、花びらを天ぷらにし、開花後にしぼんだものを肉と炒める地域もある。また、手入れをすれば果実をつけ、同じサボテン科のドラゴンフルーツのような甘さと食感だという。

原産地において4世紀に開花し、16世紀にスペインに滅ぼされるまで、他の文明と比べて特異ながらも高度かつ壮麗な栄華を誇ったマヤ文明のように、なんとも不思議な花である。

花ことばは「はかない美」「快樂」「艶やかな美人」など多数。

コスモス (秋桜)

「薄紅のコスモスが秋の日の 何気ない陽だまりに揺れている」と、嫁ぐ娘の母親に対する心情を、山口百恵が歌って30年以上になる。もともとコスモスの和名である「秋桜」は、そのまま「あきざくら」と読んでいたが、この歌のヒットにより「コスモス」とも読まれるようになったという。メキシコ原産のキク科であり、日本には明治になって持ち込まれた。やせた土地でもよく育つことから、荒地や季節はずれのスキー場などで景観植物として植えられている。冒頭の名曲「秋桜」は、いまでも耳にする機会が多く、様々な年代やジャンルのミュージシャンからカバーされ続けている。まさに色あせぬ名曲である。小野津小学校にて。

花ことばは「真心」「少女の純真」など。

